

生き生きする

働くことは

聞き書き甲子園20th 記念イベント

2021年11月21日(日) 13時～15時

会場:中津川地区公民館 〒999-0427 山形県西置賜郡飯豊町上原469 入場料:参加無料

お申し込み方法:事前予約制とさせていただきます。「氏名」「住所」「お電話番号」をお電話またはメールでご連絡ください。

事務局:飯豊町企画課総合政策室 TEL:0238-87-0521 E-mail:i-seisaku@town.iide.yamagata.jp

新型コロナウイルス感染防止対策のため、必ずマスク着用をお願いいたします。

【主催】飯豊町、聞き書き甲子園実行委員会(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク)

聞き書き甲子園20th 記念イベント

働くことは、生きること

高校生が、日本のさまざまな地域で暮らす森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」をする「聞き書き甲子園」。本活動は今年で20周年を迎え、1700以上の「聞き書き作品」とともに人と人との繋がりを生んできました。高校生は「聞き書き」を通じて、名人の言葉の奥に何をみたのでしょうか。今回の記念イベントでは、2019年度の「聞き書き甲子園」において、メープルシロップづくりの名人として選ばれた中善寺善三さんと、中善寺さんを「聞き書き」した江波戸彩花さんが登壇。取材当時の体験を振り返るトークイベントを行ないます。また、「聞き書き甲子園」のドキュメンタリー映画「森聞き」の上映会も行ないます。「聞き書き」は、他者を知ると同時に、自分をみつめる機会でもあります。本イベントに参加される方々にとってこの企画が、画一的な正解の無いこれからの時代の生き方・働き方を考える場になれば幸いです。



「聞き書き甲子園」と「聞き書き」について

高校生が出会う名人は、伝統を受け継ぎ、農山漁村で生きてきたご年配の方がたです。その職種は、樵や炭焼き、木工職人、漁師、海女など、さまざま。高校生は、名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心をていねいに聞き、名人の語り口を生かした一人語りの作品に仕上げます。高校生は、名人が言いたいこと、伝えたいことは何かを反芻し、熟考しながら、限られた文字数の中で名人の思いを表現し、「聞き書き作品」を書き上げているのです。

映画「森聞き」について

映画「森聞き」は、聞き書き甲子園に参加した4組の高校生と森の名人を描いたドキュメンタリー映画です。映画に登場する名人の皆さんは、高校生との出会いをとおして自身の半生を振り返り、「生きること」と「働くこと」の意味を、それぞれに語りかけます。対話によって紡がれる「聞き書き」の世界を、本作品を通じて皆様にお伝えできれば幸いです。制作：プロダクション・エイシア 監督：柴田昌平 上映時間：50分（2011年に製作した長編ドキュメンタリー映画の短縮版）

開催概要・お問い合わせ先

- 日時：2021年11月21日（日）13時～15時（12時30分開場） ■会場：中津川地区公民館 〒999-0427 山形県西置賜郡飯豊町上原469
 - 参加費：無料（事前予約制） ■お問合せ先：飯豊町役場 企画課 総合政策室（担当：川村）電話番号：0238-87-0521
- 感染防止対策のため、検温や手指消毒、マスク着用等を徹底いたします。

地方巡回展と全国の図書館との連携イベントについて

2021年10月より、全国各地で本企画の巡回展を計画しています。会場によっては、パネル展示だけでなく、「聞き書き甲子園」のドキュメンタリー映画「森聞き」（短縮版）の無料上映会やトークイベントなども合わせて実施いたします。詳細は決まり次第「聞き書き甲子園」WEBサイトやSNS等を通じて発信していきます。

「聞き書き甲子園」
WEBサイト



【募金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート【助成】公益財団法人日本財団【協賛・協力】トヨタ自動車株式会社、一般財団法人環境文化創造研究所、公益財団法人一ツ橋芸文教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電話工業所、株式会社トンボ、京王電鉄株式会社、株式会社ティムコ、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション、大和ハウスグループエンドレス募金【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、全国過疎地域連盟、NPO法人「日本で最も美しい村」連合

あなたと、コンビニに、
FamilyMart ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、聞き書き甲子園の活動を応援しています。

Supported by  **THE NIPPON GAKUIN FOUNDATION**